



## 愛川ふれあいの村8月の風景

# 平成28年8月 自然のたより

先月に比べて、力強いセミの鳴き声が村内に響き渡っています。昆虫は徐々に成虫に近づいていたり、クリの木は枝先に沢山の緑色のイガをつけていたり、生命力に溢れた8月となりました。

暑い日が続く、秋を感じにくいですが、季節はゆっくりと夏から秋へと移り変わってきています。



コシアキトンボ



青空に映えるエンジュの白い花



ミヤマアカネ



ボタンツル



タマムシ



シオヤブの交尾



アブラゼミ



緑色のクリ



エナガ



オオシオカラトンボ



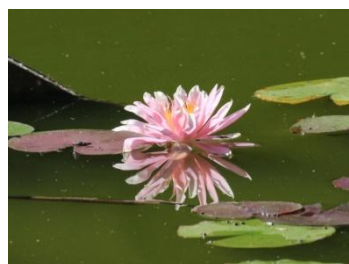
ウチクチを捕えたアオメガ



ダイミョウセセリ



ネキトンボ



水面に映るスイレンの花



ウバユリ



## ◆実は長生きな昆虫、セミ◆

### ～それぞれに合った進化～

8月に入り暑さが増す一方、セミの鳴き声もその勢いを増しています。夏の風物詩に入るほど有名な昆虫ですが、どのような生態をしているのかを知っている人は少ないのではないのでしょうか。

誰でも一度は『セミの寿命は1週間』という言葉で聞いたことがあると思います。しかし実際は3週間程、環境が良ければ一カ月は生きるのです。しかもこれは羽化後の寿命を指しているの、幼虫期は入っていません。その幼虫期を含めた寿命を見るとセミは昆虫の中でもかなり長寿で、種類により違いますがおよそ2～7年ほど。カマキリやカブトムシの寿命が1年ほどなのを考えると、その長さに驚きます。

セミは一生のほとんどを地中で過ごし、木の根から樹液を吸って成長します。そして数年後、繁殖するために穴を掘って地上に出てくるのです。

成虫になるまでの道のりは昆虫によって様々で、例えばカマキリは地上で生まれ、鳥や他の昆虫などの外敵による危険にさらされながらも狩りを続け、何度も脱皮を繰り返してやがて成虫になります。セミと同じく幼虫期を土の中で過ごすカブトムシも、腐葉土を食べているから成虫になるまでの期間が10カ月と、セミの何倍ものスピードで成長します。

地上で生まれ育ち、外敵の多い環境で子孫を残すために沢山の子を産む昆虫や、外敵から身を守るため地中での成長を選んだ昆虫。

その中でも成長に差があったりと、それぞれに合わせた進化を遂げています。

近所にいる昆虫を観察してみると、新しい発見があるかも知れませんね。(天野)



## ▼ヤママユ▼

日本の伝統的な衣服と言えば着物です。着物の材料は綿や麻、羊の毛、昆虫がつくった繭などがあります。

繭と言えば、カイコを思い浮かべる方が多いと思います。しかし繭をつくる蛾はカイコの他にも数種類います。その中のひとつがヤママユです。ヤママユが作る繭は淡い緑色をしていてとてもきれいです。

ヤママユの繭からできる生糸はカイコのもの何倍もの値が付くことがあり、その生糸でできた着物が数百万円になることもあります。着物の文化を守るためには、こうした小さな昆虫たちを守る必要があるのです。(石川)



## ★旬のお知らせ：和グルミ★

立秋を過ぎ、朝晩が過ごしやすくなってきました。オニグルミの木には、青い実が出来はじめています。これから熟してきて、9月頃から実が落ちます。落ちた内果実という硬い殻を割ると、種子を食べることが出来ます(しかしこの殻がとにかく硬く、苦戦します…)。オニグルミは、別名「和グルミ」。日本固有種です。和グルミは、タンパク質、ビタミンB1、Eなどが含まれ栄養価が高く、血液をサラサラにする効果もある木の実です。たくさんは市場に出回らない和グルミですが、見つけた時は一度手に取ってみてはいかがでしょうか。(高橋)



## ◎九月の

### 注目ポイント◎

雨が少なく、暑い日が多かった今年の八月。まだまだ残暑も厳しく、熱中症への注意が続きます。

さて、日中は照り付ける日差しと高い気温に倒れそうになりますが、夕方になると心地良い風が吹き、秋が始まっていることを実感します。

『秋来ぬと 目にはさやかに 見えねども 風の音にぞ お どころかれぬる』(藤原敏行)

この短歌は、「秋が来たと目にははっきりと見えなけれど、風の音ではと気付いた」と現代語訳されます。風によって木々の葉が揺れて音が奏でられ、風を感じるのでしょうか。

これから台風の多くなる季節に移り変わっていきます。風も心地良い風から、突風や暴風など嫌な風まで、さまざまな風に出会えることでしょう。

風も自然現象の一つ。身体全体を使って風を感じてみましょう。風から季節だけでなく、天気も予測できるようななるかもしれませぬよ。(大瀧)

▼目をつぶって、風がどこから吹いているか集中すると、風向きや風の温度などが分かりますよ。



発行者：神奈川県立愛川ふれあいの村

TEL：046-281-1611 HP：<http://fureai-aikawa.com/>

写真：吉田文雄・大瀧裕基子

文章：天野智裕・高橋博・石川雄馬・大瀧裕基子

編集：大瀧裕基子・吉田文雄



愛川ふれあいの村で、検索★